

令和元年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	町道の維持管理				担当課名	建設水道課
(予算書コード)	08-01-01-05-01、08-02-01-05-01、08-02-02-10-01、08-02-03-10-01・12-01、08-02-04-10-01、08-02-05-12-01				担当係名	建設管理係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託	補 助	
事業の開始・終了	年 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)					
根拠法令等の名称	道路法					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	道路は地域社会を支える基盤として重要な役割を担っており、住民の安心・安全な暮らしのために、計画的に道路、橋りょう維持補修工事を行う。冬期間は安全でスムーズな交通を確保するため、幹線道路の凍結防止剤の散布、除雪を行う。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		平成30年度	令和元年度	令和2年度
	道路維持補修工事件数	同左		目 標	9	7	7
				実 績	8	7	
達成率	88.9%	100.0%					

【投入されたコスト・業務量】

		平成30年度決算		令和元年度決算		令和2年度予算	
事業費	事業費 A	207,990 千円		260,890 千円		325,489 千円	
	うち 会計年度任用職員賃金	人	千円	人	千円	0.50 人	1,150 千円
	正規職員人件費 B	3.00 人	20,082 千円	3.00 人	19,797 千円	3.00 人	19,677 千円
事業費合計 C (A+B)		228,072 千円		280,687 千円		345,166 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	31,328 千円	27,319 千円	44,550 千円		
		県の負担					
		町の借入	77,500 千円	111,100 千円	174,800 千円		
		その他	5,117 千円	68,417 千円	32,083 千円		
		うち 使用料・手数料 D					
一般財源 (町の負担)		114,127 千円		73,851 千円		93,733 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 町以外では行えない
公平性	A	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 適切である
効率性	A	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 適切である
達成度	B	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 目標値どおりである

総合評価	拡 充	年次計画による道路維持補修工事は当初の計画通り実施した。道路パトロール、区からの要望による損傷箇所への補修については、小規模補修工事により随時対応を図った。諏訪湖周辺の道路環境の向上を図る上では、町道湖岸通り線等街路灯整備事業、諏訪湖周サイクリングロード整備事業が継続的に進められ、新規事業として高木橋の概略設計、ジョギングロード新設事業が進められ、道路環境の維持、向上が図られた。
	前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	拡 充

令和元年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	交通安全対策			担当課名	建設水道課
(予算書コード)	08-01-02-05-01・10-01			担当係名	建設管理係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営		
事業の開始・終了	年	月 ~	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)
根拠法令等の名称	道路交通法				

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	歩行者等が交通事故に遭わない、事故のない安全で快適な交通社会の実現のため、交通安全施設整備を行う。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		平成30年度	令和元年度	令和2年度
	交通事故発生 件数	同左	件	目 標	70	70	70
				実 績	63	65	
達成率	111.1%	107.7%					

【投入されたコスト・業務量】

		平成30年度決算		令和元年度決算		令和2年度予算	
事業費	事業費 A	7,205 千円		6,946 千円		7,685 千円	
	うち 会計年度任用職員賃金	人	千円	人	千円	0.50 人	1,149 千円
	正規職員人件費 B	1.00 人	6,694 千円	1.00 人	6,599 千円	1.00 人	6,559 千円
事業費合計 C (A+B)		13,899 千円		13,545 千円		14,244 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	
		町の借入	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	
	うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円		
一般財源 (町の負担)		13,899 千円		13,545 千円		14,244 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町以外では行えない 住民要望、通学路の合同点検、道路パトロール等により危険箇所を把握し、必要箇所への整備を行っている。
公平性	A	適切である 危険性等を調査し、関係機関と協議しながら順次整備を行っている。
効率性	A	適切である 危険性等を調査し、関係機関と協議しながら順次整備を行っている。
達成度	A	目標値以上である 事故件数は前年比2件の増。死亡事故は、平成29年、30年と連続的に発生しているが、令和元年は発生していない状況。関係機関、団体と連携し街頭啓発活動等を実施し交通安全マナーの徹底を図るとともに効果的な交通施設整備を進め安全対策を進める。

総合評価	現状維持	通学路を中心に危険箇所への交通施設整備を行った。関係機関、団体等と連携強化を図り街頭啓発活動を行い交通安全施設整備と一体的に交通安全の推進を図った。
	現状維持	
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	